

頸髄損傷者の動作獲得について
～移乗について考える～

車椅子ベッド間移乗

下肢の支持を利用した移乗について

第二自立訓練部 肢体機能訓練課
理学療法部門

移乗の方法

立位で下肢を踏み替える方法

- 立位で膝折れの危険性が少ない方に適している。立位での重心移動や下肢の踏み替えを伴う方向転換が必要になる。

起立中間位（中腰）で方向転換する方法

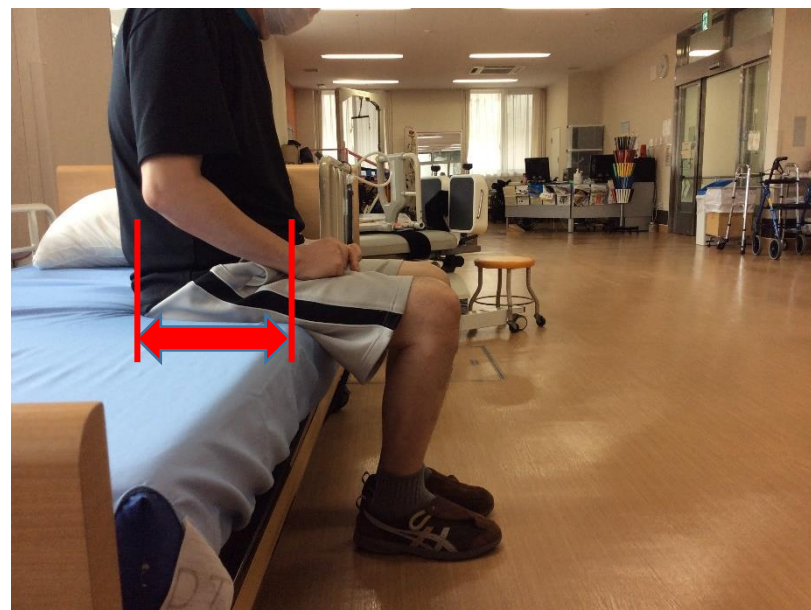
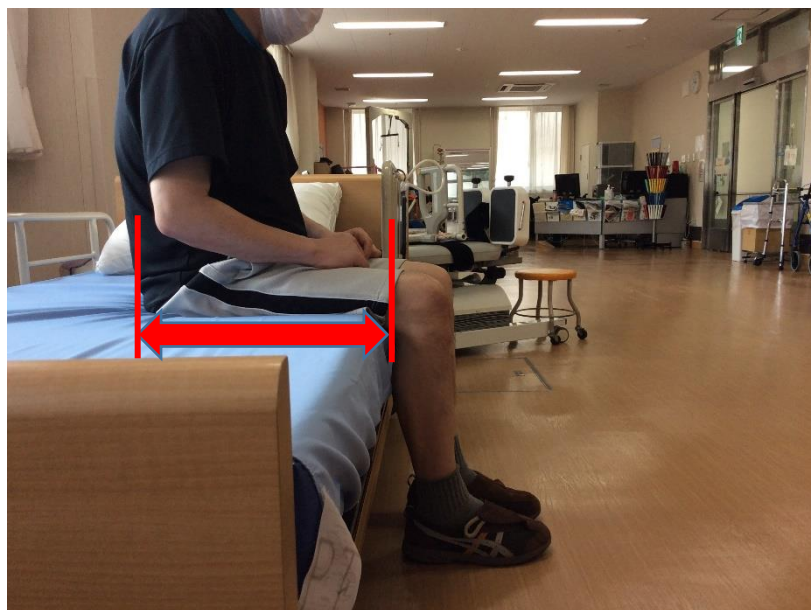
- 立位で膝折れの危険性が高い方に適している。上肢と下肢の支持を用いて離殿し、殿部を移乗先に向ける動作が必要になる。

※どちらの方法も、起立動作の基本として、①殿部の位置、②足部の位置、③座面の高さが重要であり、重心を殿部から足部に移すことが共通している。

起立動作の基本

①殿部の位置

起立しやすいよう浅く座る。



起立動作の基本

②足部の位置

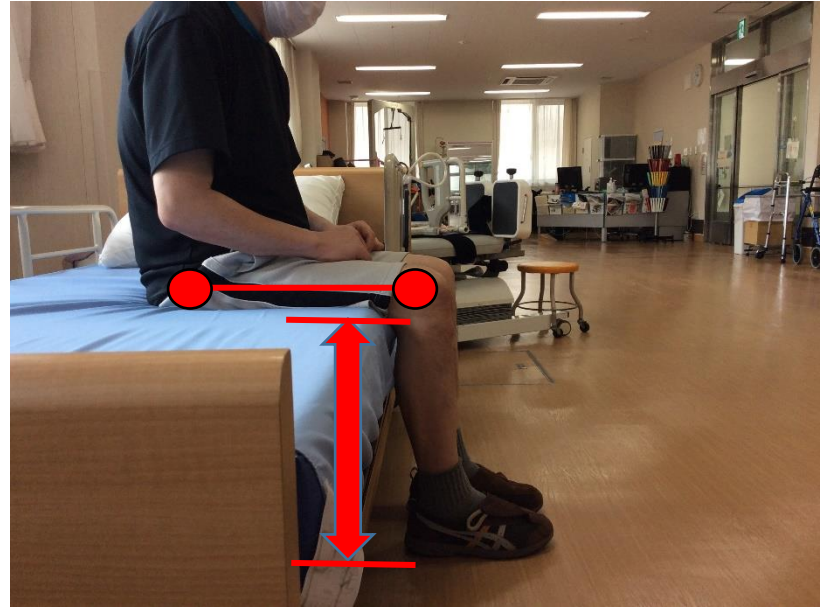
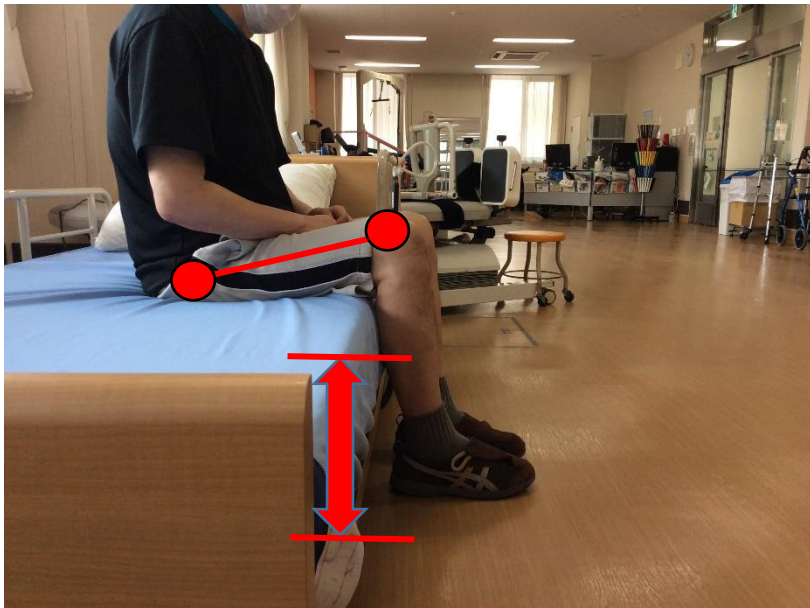
下肢に荷重しやすいよう、足部が膝よりもやや手前にくるようにする。



起立動作の基本

③座面の高さ

下肢に荷重しやすいよう、ベッドの高さを調整し、膝の位置が殿部より高くないようにする。また、ベッドが高くなると起立しやすくなるが、殿部が前方へ滑り、転落する危険性があるため注意が必要である。



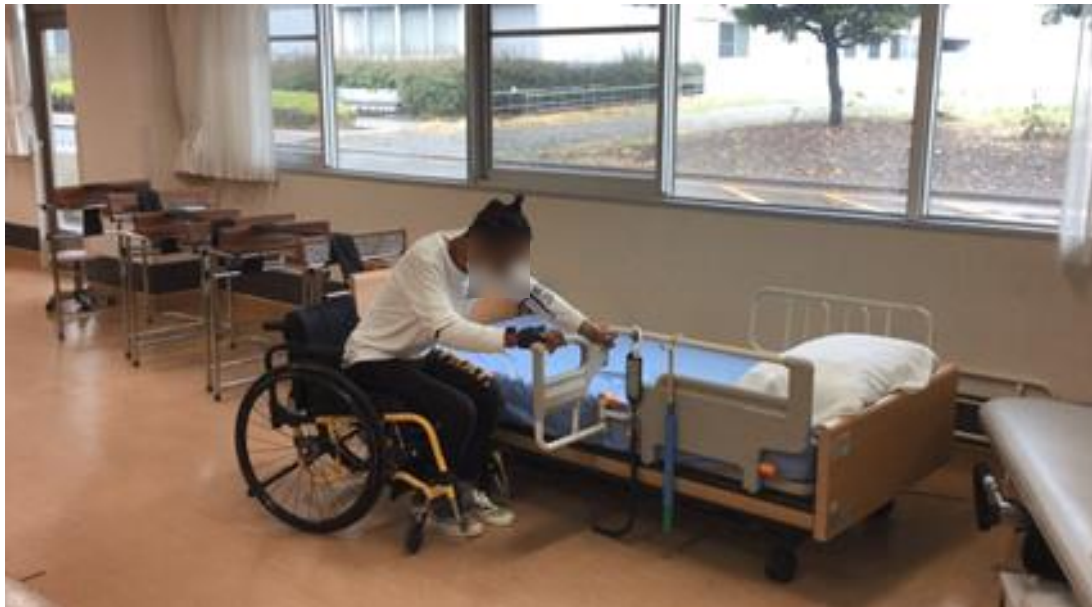
立位で下肢を踏み替える方法

- 起立しやすいように浅く座り、足部が膝よりやや手前にくるようにする。



立位で下肢を踏み替える方法

- 重心を前方に移動させ、体幹前傾位で下肢に荷重する。



立位で下肢を踏み替える方法

- ・ 重心をやや前方に保ちながら、起立する。



不全四肢麻痺者の特徴

手すりを引きつけて立位保持する方が多い。

ポイント

手すりを下方へ押さえるように支持することが重要である。

立位で下肢を踏み替える方法

- ・立位で重心を左右に移動させながら下肢を踏み替え、殿部を移乗先へ向ける。



立位で下肢を踏み替える方法

- ・体幹前傾し、下肢に荷重しながらゆっくりり着座する。



立位で下肢を踏み替える方法



起立中間位（中腰）で方向転換する方法

- 起立しやすいように浅く座り、足部が膝よりもやや手前にくるようにする。



起立中間位（中腰）で方向転換する方法

- 下肢の踏み替えをしないため、前もって移乗先側の足がやや前方になるよう調整しておく。



起立中間位（中腰）で方向転換する方法

- 重心を前方に移動させ、上下肢の支持で離殿しながら移乗先に殿部を近づけていく。



ポイント

移乗時に仙・尾骨部が車椅子のタイヤ等に当たらないよう、臀部の位置を調整しておくことが重要である。

起立中間位（中腰）で方向転換する方法

- 体幹前傾しながら、上下肢の支持で起立中間位（中腰）を保ち、殿部を移乗先に向ける。



不全四肢麻痺者の特徴

離殿時に体幹前傾が不十分で、前方に重心移動できない方が多い。

ポイント

体幹を前傾しながら、下肢のみではなく、上肢にも荷重して支持することが重要になります。

起立中間位（中腰）で方向転換する方法

- 重心をやや前方に保ち、上下肢に荷重しながらゆっくり着座する。



起立中間位（中腰）で方向転換する方法

